就活対策 就活のための準備についての 2013 就活増刊号 より

本文は、スキヤニングでは読みづらいと思い写し取りました。

これだけは準備しておこう！ ー就活が本格化する 12 月末までに

○自分の強みや魅力を書き出そう

就職活動は、自分の強みや魅力を会社に知ってもらおう場だ。会社が知りたいのは、「当社にとって、この学生は利益になる人かどうか」ということだ。真面目か、順応性があるか、忍耐強いのか、機転が利くか、協調性があるか、リーダーシップがあるか、・・・などを見ている。求められる能力が備わっていることが伝わるようなエピソードを、過去の体験から掘り起こして書き出そう。

○業界・職種・会社について調べよう

「得意なこと」「好きなこと」「興味があること」を考え、それに関連する業界や職場について調べることからスタートしよう。業界や職種が絞れたら、ホームページやパンフレットなどで個々の会社の基本情報を調べる。その際、規模や給与だけでなく、その会社で働くことを具体的にイメージしてみることも大切だ。そのためにも、実際に働いている社員の話が聞ける会社説明会やOB・OG訪問、会社見学などは欠かせない。また、会社についての客観的情報を得られる新聞やテレビ、書籍、雑誌などもチェックしよう。

○自己PRや志望動機をまとめよう

エントリーシートや面接では、自分のセールスポイントを説得力ある言葉で伝えなければならない。何がセールスポイントなのかを見つける手がかりとなるのが自己分析だ。客観的な目で見えた長所や強みを知るためには、親や友人、先輩にも分析してもらおうと、とても参考になる。自己PRや志望動機は、具体的なエピソードを交えて簡潔にまとめておこう。「自分にはこのような強みがある」→「それを生かして御社でこのような仕事をしたい」と語ることであれば説得力は増す。選考の重要なポイントになるので、親やOB・OGなど社会人に添削してもらい、何度も書き直してブラッシュアップしよう。

○面接対策をしよう

面接では、挨拶や立ち居振る舞いなどのマナーもチェックされる。おじぎひとつをとつをとつと、いざ本番となるといつも通りにできないものだ。対策としては、普段からしっかりした挨拶を習慣づけておくことが一番いい。また、友人や先輩を相手に面接のシミュレーションをしておくことも効果的だ。自己PRや志望動機は特によく質問されるので、声に出して話す練習をしておこう。

○筆記試験の準備をしよう

筆記試験で課せられる一般常識は、国語と数学、英語、理科、社会の基本 5 科目でレベルは中学・高校程度。適性検査の代表格は「SP-3」と呼ばれるマークシート方式のテストだ。このほか、時事問題はその時々ニュースが出題されるので、新聞やテレビで大きく取り上げられたニュースは特に注目しておこう。

同じページに、以下の大見出しでの記事がありましたので概略紹介しますと、

『就活は成長のチャンス』

○企業が求めるのは戦略を建てて実行する学生

就職活動は未来に進むためのステップと考え前向きに取り組むこと。

「みんながやっているから」ではなく「自分の意志でやるんだ」という心構えが大事である。

・志望企業の取引先にも目をむけよう

志望する企業の周りにどのような取引先があり、どのように結びついているのかを調べて行くと業界全体が見えてくる。取引先の中から優良企業の発見の可能性がある。

・物事に取り組む姿勢を打ち出そう

「物事にどのように取り組んでいたのか?」「その取り組みによってどのように変わったのか?」という学生の内面を知りたい。

企業は物事にどのように取り組む学生かを見ている。就職しても学び続けようとする姿勢があるか、困難にぶつかっても乗り越えられそうか、を知りたい。

ストレスを感じるような環境の中でどのように行動したかを聞き出すことで、ストレスに耐えられる学生かと云うことを見極めるための「ストレス耐性」をチェックする企業が増えている。

「今までストレスを感じる環境に身を置いたことがありますか」と質問し、それはどのようなシチュエーションで、どのようにストレスを感じて、どのように行動したかを掘り下げて尋ねる。

・現実を知るためにOB・OG訪問を

志望先・業界の現実を知り、説得力のあるエントリーシートを作る。当初の志望とは畑違いの業界・企業に就職したりした先輩も沢山おり、その決断の理由やそれまでの経緯や悩みを聞くことも参考になる。